

昭和村社会福祉協議会昭和の里
地域密着型通所介護事業運営推進会議 報告書

日 時	令和8年3月19日(木) 11:00～11:40
場 所	昭和村ふれあい館
出席者	<p>構成員：兵藤みきえ(利用者)、吉澤博通(利用者の家族)、 藤井常男(民生委員児童委員)、 鈴木彰(村健康福祉課介護保険担当)、 野田勝也((株)野田コミュニティケア代表)</p> <p>事業者：新木敬司(会長)、落合邦江(事務局長)、佐藤智昭(管理者)</p>
内 容	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 昭和村社会福祉協議会 新木会長</p> <p>3. 協議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度活動状況の報告及び評価 <ul style="list-style-type: none"> (1) 事業所概要説明及び令和7年度活動状況の報告(資料の通り) 職員の配置状況について実人数は生活相談員2名、介護職員6名、看護職員2名、調理職員1名の計11名で行っている。 2月までの実績では、男性が3割、女性が7割となっていて昨年度と同じ割合になっている。要介護者の延利用者数は前年度と同じ程度で、要支援の延利用者数は増加しているため、要支援者の割合が増加している。 実施した内容については、レクリエーションは年間で計画し、ドライブ、村内小学校の福祉教育や保育園等の慰問の受け入れも行っている。 (2) 評価及び意見 <ul style="list-style-type: none"> ・なかなか外には出かけられないのでドライブに出かけたりするのは気分転換にもなる。紅葉をみたり、村内を一回りしたりなど、これからも居間までと同じ用が続けてほしい。 ・ドライブについては、冬期以外は月に1回位は出かけられるように取り組んでいる。身体状況等によりドライブに出かけることを希望しない方も居るが、出かける曜日を調整しながら一人1回は出かけられるように取り組んでいる。 ・骨折後手術を行い寝たきりになってしまったので、退院後デイサービスを利用することに不安があったが、ポータブルトイレなどの環境を整備して退院することができ、利用も再開することができた。デイサービスの利用を再開してから、骨折した足も徐々に動くようになるなど体もしっかりしてきて、気持ちも前向きになってきた。在宅に戻れたこと、デイサービスを領できたことで、とても元気

	になった。デイサービスを利用できるのはとてもありがたい。 4. その他 ・特になし。
備 考	特になし